

第187回「河川文化を語る会」のご案内

講演 飛鳥時代から生き続ける狭山池

講師 う え だ た か し
植田 隆司 氏
(大阪府立狭山池博物館副館長)

南大阪に所在する国史跡狭山池は、現存する我が国最古のダム式ため池です。1400年前の飛鳥時代、灌漑用のため池として築造された狭山池は、「平成の改修」によって下流域の洪水を防止する治水機能が大幅に強化されました。平成の改修に伴う発掘調査では、古代から現代に至る各時代の土木遺構・遺物が数多く出土しました。このうち、取水施設の木樋と、鎌倉時代の僧重源の改修碑は、重要文化財に指定されています。明らかになってきた狭山池の歴史情報と、狭山池の文化遺産を未来へと継承していくための地域協働による取り組みをご紹介します。

【講師略歴】

1967年大阪府生まれ。龍谷大学大学院文学研究科修士課程修了。大阪府立狭山池博物館副館長。日本考古学協会会員。1986年～1990年奈良県御所市教育委員会調査員として巨勢山古墳群等の発掘調査に従事。1990年～1998年大阪狭山市教育委員会・狭山池調査事務所にて狭山池の発掘調査を担当。2001年大阪府立狭山池博物館学芸員就任。2014年大阪府富田林土木事務所狭山池博物館参事・副館長就任。

- 開催日時 平成27年11月19日(木) 18:30～20:30
- 開催場所 エル・おおさか(大阪府立労働センター) 7F「709会議室」
(大阪市中央区北浜東3-14 TEL:06-6942-0001)
- 交通 地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m
- 参加費 無料
- 申し込み/問い合わせ 氏名・(勤務先)・TEL・(FAX)・二種正会員(個人会員)/一般の別を明記の上、FAX/郵送/E-mailのいずれかでお申し込みください。(参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください)



●日本河川協会「河川文化を語る会」事務局 担当:高木, 佐藤

TEL:03-3238-9771 FAX:03-3288-2426 E-mail:kataru@japanriver.or.jp
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3F

または ●大阪府都市整備部河川室 担当:川上, 飛鷹

TEL:06-6944-9296 FAX:06-6949-3129

- 申込締切 定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

主催  公益社団法人 日本河川協会 共催 かわ 大阪の河川を愛する会 後援 大阪府
当講演会は、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。 

(切り取らずにこのままFAXしてください)

日本河川協会 行 FAX:03-3288-2426
大阪府都市整備部河川室 行 FAX:06-6949-3129

第187回「河川文化を語る会」参加申込書

ふりがな
氏名 二種正会員(個人会員)・一般・学生(いずれかを○で囲んでください)
勤務先(記入は任意)

※職種(いずれかに○) コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行政・財団/社団・NGO/NPO等・その他

TEL () FAX ()

(※ご連絡いただきました個人情報は、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます)



当講演会は、公益財団法人河川財団による河川整備基金の助成を受けています。